



国際ロータリー 第2570地区 熊谷南ロータリークラブ

KUMAGAYA SOUTH Rotary Club of Saitama R2 District 2570

会舎●熊谷三井 野宮●高麗ビル
 利会場●ホテルガーデンパレス 熊谷市佐登田324B-1
 TEL 048-622-6143 FAX 048-622-6153
 http://kumagaya-south-rc.com/ E-mail: ksc@kumagaya-south-rc.com



国際ロータリー
 2009-10年度 会長
 ジョン・クニー
 国際ロータリー第2570地区
 2009-10年度 ガバナー
 加藤 玄壽

2010.2.10. No.582

ロータリー財団奨学学友委員会報告



第 2570 地区 R 財団奨学学友委員、次期ガバナー補佐 澤田将信会員



現地区 R 財団奨学学友委員として、また、次年度 2570 地区ガバナー補佐の立場から、地区組織の現状の一部憂慮すべき問題点を“歯に衣を着せない”心に響く“澤田節”で指摘糾弾する澤田次年度副会長。意気込み、大いに伝わりました。

棚澤会長と力強い握手をする澤田次期ガバナー補佐



2月7日の財団セミナーの報告をする馬場委員長



行田 RC 主催 行田市市制施行 60 周年記念文化講演会「人間学を学ぶ」に棚澤会長、渡邊幹事、高田エレクト、植竹副幹事、島崎米山委員長が参加してきました。会場は 500 人以上で満席となり、立ち見の方も沢山いました。



2月13日 19時、筍亭にて高田年度理事、役員の新顔合わせが行われました。



意気込みを語り、乾杯する高田エレクト



2月10日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
27	16	11	2	59.3%

第 2 1 回会長挨拶

棚澤 正行

皆さんこんばんは、今日は澤田次期ガバナー補佐の卓話です。

今日は、今年の地区委員の財団学友の委員としてのお話がメインで、すでに動き始めている次期西川年度の事についてもお話しいただけると思います。

宜しい願いします。

また、今回の例会を渡邊幹事が全員出席にしますと豪言しており、各会員にTELにてお願いをして頂いてくれたみたいです。しかし、「食事は何人分で注文しました?」と聞いたところ、「20です」と答えていました。幹事の仕事の苦勞を垣間見た気がしました。

明日の建国記念日は、行田市文化センターにおいて藤尾秀昭先生の「出会いの人間学」という演題での文化講演会があります。至知出版社の代表者であり編集長の先生をお呼びして、行田RCが主催で行田市市制施行60周年を記念して富田会長が企画されたものです。

午後1時から開場、1時30分より開演です。今日行田クラブへ電話したところ、募集した名簿では500人以上集まるらしいですが、若干の席の余裕があるらしいです。入場料は無料となっておりますのでご興味のある方はご参加ください。

新井会員を襲ったサンタが逮捕されたそうです。警察署長の卓話で「必ず逮捕します!」と言ったのを守ってくれたみたいです。

現在の南クラブの現状は、27名で、3月よ

り28名となりますが、ぜひあと2人ほしいところですよ。

先日体験例会に来た福田さんには今期中に入会いただくつもりです。

岡部常任委員長、山口副会長、小野寺さん、今日聞いたのですが井上さんが新入会員を紹介して頂けるみたいです。

入会申し込みは事務局にありますので、ぜひお声掛けください!

以上

幹事報告

渡邊 藤男

1. 地区より
 - * 地区大会参加、RI 会長代理歓迎晚餐会登録のご案内
 - * ハイチ地震についてのご連絡
 - * 2009 - 10 年度 WCS 支援金の振込みについて(お願い)
 - * 2009 - 10 年度 第5グループ第5回会長幹事会のご案内
 - * 米山奨学生の世話クラブとカウンセラーお引き受けについてのごお願い
 - * 5 クラブ合同ゴルフ実行委員会のご案内
2. RI より
 - * ROTARY WORLD

以上が届いております。

澤田将信地区 R 財団奨学学友委員卓話資料

* ロータリー財団の始まりについて

ロータリー財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会で、アーチ C、クランプが「世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕分野でより良きことをするために基金を創ろう」と提案したことに始まり、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられ、1931年に信託組織となり、1983年米国イリノイ州法の法令のもとに非営利財団法人になりました。

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の正式な名称、「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーと法的に違って、その目的・使命・活動は両者一体のものです。

ロータリー財団は、国際ロータリー会長を含む理事会メンバーが推薦し、理事会が選出した15名のロータリー財団管理委員により運営されます。

2009～2010年度は、グレン E、エステス元 RI 会長が管理委員長で、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー元 RI 会長が管理委員長エレクトです。

2009～10 年度

第 2 回「ロータリー財団セミナー」

ロータリー財団委員長 馬場孝

2月7日(日)に女性会館(嵐山町)で行なわれた第2回ロータリー財団セミナーに高田会長エレクトと一緒に出席しました。内容は下記の通りです。

.加藤ガバナー挨拶

1)10年前の2570地区予算は8,000万円だったが、会員の減少もあり本年度の予算は5,000万円と3,000万円も減っています。しかし、2570地区 R 財団の寄付合計は減ることなく増えております。これもポリオ撲滅、チャレンジ寄付等あり会員の努力によるものです。

2)ポリオ撲滅の歴史

ポリオは紀元前1500年頃エジプト王朝時代の石碑に、ポリオによる麻痺例と推定された若い僧の像が刻まれていた。

1887年スエーデンでポリオが伝染病と認定。

1960年日本・北海道で6,000人のポリオ患者。ソ連、カナダからワクチンを取り寄せ撲滅。

1979年 RI がはじめてポリオのプロジェクトに携わり、フィリピンの600万人の児童にポリオの予防接種を5ヶ年間で行うという誓約をする。

1985年ポリオ・プラス・プログラムはスタート。

ポリオと共に、ハシカ・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風の5つをプラスして同時追放を目的といたしました。

3)4月の地区大会は登録料をいただきますので、多くの会員に出席していただきたい。

.全体会議

1) ロータリー財団の動向について

小池貞作 部門委員長

東京麹町 RC が R 財団の表彰を受ける。

南インドのハシカ撲滅に寄与

■ チャレンジ寄付金(使途指定寄付金)

2億円のチャレンジ寄付金の実績は、当地区は2009年12月末日現在まで昨年と累計した年額目標の40.7%の

61,701 ドルの協力をいただきました。

R 財団全体では、12 月で 10,180 万ドルが集約されました。(50.9%)

2) ローターリー財団の寄付について

柴崎典一 財団推進補助金委員長

2009 ~ 2010 年度の寄付地区目標額

年次 130 ドル+使途指定 50 ドル+恒久 20 ドル=200 ドル(前年 190 ドル)

- ・ 年次寄付 [個人 100 ドル、協力金 30 ドル] 130 ドル(前年 140 ドル)
- ・ 使途指定寄付 [チャレンジ寄付] 50 ドル(前年 30 ドル)
- ・ 恒久寄付 20 ドル(前年 20 ドル)

使途指定(ポリオ撲滅)寄付は、ビル&メリンダゲイツ財団から、2007 年 11 月に 1 億ドル、2009 年 1 月に 2 億 5 千 5 百万ドルのポリオ撲滅の寄付があり、R 財団は、この寄付に対して、2008 ~ 2012 年の 4 年間に、2 億ドルのチャレンジ寄付金を集約するものです。

地区補助金残 1,435,500 円(15,950 ドル)

申請は 2 月末までです。

R 財団寄付額達成率

当クラブ 44%(2,300 ドル)

地区合計 54%

3) GSE について 吉田靖夫 GSE 委員長

3 年に一度のプログラムなので出発(7 月頃)は次年度になります。

団長は熊谷東 RC・井桁会長で、オーストラリアになります。

3) 国際親善奨学生について

松本光司 奨学学友委員長

国際親善奨学候補生の発表

下記の国際親善奨学生のスピーチがあり、自信を持ち発表しておりました。

大和美桜 さん(坂戸さつき)独協大学・ドイツ留学予定

友邊明香 さん(新座)上智大学院・フランス留学予定

井川麻里子 さん(新所沢)早稲田大・オーストラリア留学予定

5)「ロータリーカード」の加入増進の依頼がありました。



棚澤正行会長・渡邊藤男幹事

本日のプログラムは、澤田次期ガバナー補佐の卓話です。勉強させていただきます、澤田さん宜しくお願いします。

山口茂会員

澤田ガバナー補佐、次年度大役、お疲れ様です。本日の抱負楽しみにしております。今日は、美しい顔してますね~。

馬場孝会員

こんばんは。先日 7 日財団セミナーに行ってきました。本日委員会報告をさせていただきます。よろしく願い致します。

榎本信哉会員

インフルエンザがひと息ついたと思ったら、嘔吐下痢症の流行がはじまり、忙しく働いています。皆様もお体を大切に。

高田直樹会員

澤田パスト会長の「学友報告」楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。